

講演内容の概要紹介

講演①

日本アマチュア無線連盟の現状と最近の取り組みについて JARL 会長 JG1KTC 高尾義則

日本アマチュア無線連盟の財政や会員数など現状をご説明させていただきます。

会長に就任いたしましたからの、会員皆様ファースト、会員皆様主役の組織運営、取り組み、各種サービスの充実や今後の取り組みについてお話しさせていただきます。

講演②

九州で開局 55 年間無線三味のご紹介 JH3BFO 中根 正見様

1. 中学 2 年長崎市で JA6DQN 開局 7MHz~50MHz A3 で運用

TORIO 9R59, TX88A シリーズのキットを組み立て 7MHz10mH フォルデッド・ダイポール他にて運用

2. 高校から京都市へ QSY。1969 年 JH3BFO 免許

高校時代 2 アマ取得。大学受験で無線運用せず。大学入学し JH3BFO 開局。大学時代に 1 アマ取得

3. 1974 年 JH3CPT 1 アマと結婚

無線 (50MHz) で XYL と出会い 1 アマ取得後、結婚。1978 年京都市西京区に転居、周囲 200m 民家の無い田んぼの中の一軒家。1980 年 16.5mH 自立タワー建設、4 エレ HF 八木等 HF~V/U アンテナ建設 主として SSB/CW 運用

4. 1981 年 夫婦で 500W 局免許

無線局検査 3.5~21MHz 500W、28~144MHz 50W で免許。移動局免許 (10W) とも 5 年毎 免許更新しコール維持

5. 1982 年 10 月~1 年間米国単身赴任。NQ6F extra 取得交信

米国赴任して 1 か月後に extra まで取得、モバイル 100W 運用主として 14/21MHz で XYL と (最長 4 時間余) 交信

6. 1992 年 6 月 1 総通、1 陸技 免許取得

会社入社後 3 通、2 通、1 総通、1 陸技、その他合計 10 の無線資格取得。全て趣味での受験

7. 1996 年 3 月~6 年半 韓国単身赴任 HL2/JH3BFO 運用

6 年半の韓国で 19 階建てマンション 19 階に入居し屋上 60mH にパーティカル 1.9~430MHz 100W 免許され主として 3.5/7MHz で日本の XYL と交信。北朝鮮との関係か毎年無線局検査があり大変厳しかった

8. 2005 年 9 月~4 年間 フランス単身赴任 無線運用せず

フランスでの無線運用は装置持参したものの 4 年間 結局免許申請せず。インターネット電話や格安携帯電話で日本とは毎日 XYL と話していた。時代の流れか無線よりも携帯電話の普及が大きかった

9. 2011 年 3 月仕事辞め 8 年間無線三味 現在に至る

退職後更に無線三味。PC と無線機接続から始め RTTY/PSK31/SSTV 等のデジタル通信や VoIP 更に JT65/JT9/FT8 等にチャレンジ 新スプリアス対応と様々なデジタルモード申請 アンテナタワー立替 KT38SR/KT18C 5 エレ SteppIR (40mH) 等 19 本

10. 将来への展望

アンテナ更に建替え増設 様々なアンテナの調整 1KW 免許申請 マイクロ波 (2.4/5.6/10.1/10.4/24/47/77/135/249GHz) 申請

講演③

「アマチュア無線におけるデジタルモード通信について」 JH6JWE (ex JQ1JNP) 樋口英雄様

ここ数年、急速に運用局が増え CQ 誌等で度々紹介され注目されているデジタルモード通信は、近年の低下した伝搬状況に於いても省電力、小アンテナで国内はもとより DX 通信も可能であると評判になっている。また、近年 DX ペディションは必ずと言って良いほどデジタルモード通信がメインとなっている。当局自身、都会のマンションのベランダアンテナや GP にて多くの DX 通信行っていた。今回は、「アマチュア無線におけるデジタルモード通信について」と題し、「興味はあるがどのようにすればデジタルモード通信ができるのか?」、入門編として設備や運用方法、注意点、続々

出てくる新しい通信モードなどについて講演をする。

1. デジタルモード通信の概要
2. デジタルモード通信に必要な設備
3. デジタルモード通信の運用の特徴
4. デジタルモード通信のアプリ
5. デジタルモード通信の変更申請の概要
6. デジタルモード通信の画面
7. デジタルモード通信の運用上の注意点
8. デジタルモード通信デモ(録画)